

青梅市社会教育委員会議 1 1 月定例会会議録

日 時

令和 5 年 1 1 月 2 8 日

会 場

市役所 2 階 2 0 1 会議室

出席者

(委員)

宮野委員、吉野委員、神山委員、市川委員、鈴木委員、
鶴岡委員、白井委員、園田委員

(事務局)

遠藤課長、土屋係長、橋本主任

欠席者

(委員)

富田委員、栗原委員

1 開 会

【委員】今日は 1 1 月末とは思えない温かさだったので、大掃除を行なった。

1 1 月は第 1 ブロック研修会や関東甲信越静大会等があり、参加された方はお疲れだと思ふ。1 2 月に入ると都市社連協の交流大会があるのでよろしくお願ひしたい。

【課長】1 0 ・ 1 1 月芸術文化月間で、芸術文化祭・あそびば ART フェスティバルが開催されたが無事終了し、特に文化団体連盟の栗原会長には御尽力いただいた。本日もよろしくお願ひしたい。

2 報告事項

(1) 令和 5 年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第 1 ブロック研修会
について (報告資料 1)

ア 日 時 令和 5 年 1 1 月 4 日 (土) 1 4 時 0 0 分

イ 会 場 あきる野市役所本庁舎 5 階 5 0 3 ~ 5 0 5 会議室

ウ 内 容 講演、グループワーク

エ 参加者

| 宮野 | 吉野 | 富田 | 神山 | 市川 | 栗原 | 鈴木 | 鶴岡 | 白井 | 園田 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| ○ | — | ○ | ○ | — | — | — | — | — | ○ |

事務局：土屋、橋本

【事務局から説明】

参加者から感想

【委員】テーマは「ふるさとを紡ぎ、世代がつながり、学びがひろがるあきる野市」とあり、事例発表を含めて地域活動にいろいろな形でかわりあい、年代を超えてつながる、西多摩地域の社会性を垣間見た。ほたるを子どもたちとともに育てるなど青梅市でも行なっていたが、

自然と共生、仲間づくりを含めて良く進められていると思った。伝統芸能について、地元では高齢化進んでいて新しく入ってくる人もいない状態なので個人的に先行きに不安があるのでうらやましい。

【委員】発表した人が地域の良さ熱く語られた。聴いてる各市町村の参加者にも勇気を与えられたと思う。パネルディスカッションの時間があればもっとよかった

【委員】寿大学、五日市中学伝統芸能、五日市憲法に関することなどさまざまな団体があり、特にホテルの会では臨時の同窓会になるなど地元根ざしている。

【委員】青梅にも「青梅学」があるようだが、どんなことを行なっているか？

【事務局】学校ごとにそれぞれの地域の方から、地元の話を聴く形である。社会教育課としては出前講座を行なっている。

【委員】地域のことを伝えるということで、青梅も努力していると考えて良いのか。五日市憲法のようなトピックになるものはうらやましく感じる。

(2) 第54回関東甲信越静社会教育研究大会 栃木大会について

(報告資料2)

ア 日時 令和5年11月21日(火)～22日(水)

イ 場所 栃木県総合文化センター(栃木県宇都宮市)

ウ 参加者

| 宮野 | 吉野 | 富田 | 神山 | 市川 | 栗原 | 鈴木 | 鶴岡 | 白井 | 園田 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| ○ | ○ | — | ○ | ○ | — | — | — | ○ | ○ |

事務局：土屋、橋本

【事務局説明】参加者はほぼ1日目のみ参加、1名代表して懇親会と2日目の分科会に出席していただいた。

【委員】当日は旅行に来たかと思うほどさわやかな天気だった。

初めてウェルビーイングという言葉聞いた、自分のみではなくみんなまで幸せになるという社会教育の原点について、とても分かりやすい講演だった。作新学院の小針監督は、地域の人とつながり、また地域の人にも喜んでもらうことを目標とし、それを実践しているとても素晴らしい人だと感じた。選手の食事の材料を地域の皆さんが喜んで持ってくるなど、熱意のある人が触媒となって、教えられている子供は幸せだと思った。

【委員】アトラクションは、あそこまで昇華できるものなのかと感心した。記念講演は楽しんで聞くことができた。シンポジウムはどの組織もつながりを大事にしていると思った。自分に置き換えて聴いていると、地元の社会を明るくする運動で、今年初めて地域の各団体で集まって話を聴くことにしたが、好評だったので来年も続けていく方向となり

活性化が進んだことを思い出した。福祉の団体で、年齢やあり方などによる壁を完全になくしてつなげていることは他に類を見ず素晴らしいと思った。自分の近くでは、知り合いが子ども食堂を立ち上げたが、3, 4人程度のこともある、それを見ているとそんな分け隔てのないコミュニケーションの取れる場を設定しているのが素晴らしく、私もお手伝いしたいと思った。

【委員】小針監督は若くて経験熟練者、地域に溶け込んでいる、選手にも地域のためにがんばろうという気にさせている。懇親会では約100人と交流することができた。分科会「社会教育委員の役割」では神奈川の愛川町の事例を聴いた、人口は4万であるが、小回りが利き、非常に活気がある、「ふるさと愛」を感じた。発表2人目は宇都宮市の社会教育主事の方だったが、その立場での発表と感じ、社会教育主事と社会教育委員はどのように関わるかについて考えさせられた。ともかく今回久しぶりに多くの方の参加する大会となったと感じた。

【委員】アトラクションのハンドベルが想像を超えて素晴らしかった。小針監督は地元との結びつき強いと思った。福祉団体の方、若いのにみんなを分け隔てなくつなげていて素晴らしいと感じた。

【委員】作新学園の野球部は、ほとんど地元の人と聞いて予想外で、「人間力野球」という言葉そのままと思った。シンポジウムは地域での活動の話聞くことができてよかった。福祉団体の方は2分圏内に7か所の施設を集中し、それによりつながり相乗効果をあげてすごいと思った。個人のウェルビーイングを循環させて社会のウェルビーイングになる、青梅市としての取組を聞きたいと思った。

【委員】アトラクションのハンドベルから感心した。作新学園野球部について、強いチームは全国から募集するものなのだと思っていたが、ほぼ地元の出身ですごいと思った。今の子は人から見られないから見てあげるといのが心に残った。福祉団体の方の居場所づくり、温かく感じてよかった。

(3) 生涯学習事業実施予定・結果 (報告資料3)

【事務局説明】

(4) 令和5年度青梅市芸術文化奨励賞について (報告資料4)

【事務局説明】

前回社会教育委員の皆さまに協議いただいたものを教育委員会にかけ、個人6人、団体6団体が受賞決定。12月2日に表彰を行なう。

(5) その他

特になし

3 協議事項

(1) 青梅市社会教育委員会議10月定例会会議録について (協議資料1)

【事務局説明】

異議なしで決定

(2) 令和6年成人の日青梅市二十歳を祝う会について (協議資料2)

ア 日時 令和6年1月8日(月・祝)

午前10時開場、午前10時30分開式

イ 会場 住友金属鉦山アリーナ青梅(青梅市総合体育館)

ウ 出席者

| 宮野 | 吉野 | 富田 | 神山 | 市川 | 栗原 | 鈴木 | 鶴岡 | 白井 | 園田 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | ○ |

【事務局説明】

ビデオレターは年々工夫を凝らしたのものになってきており、参加者にも喜ばれると思う。

昨年の社会教育委員会議で意見をいただいた、着物の着方についてのレクチャーは、ホームページに載せるように事務局では考えている。

【委員】昨年来場したときに受付で来賓の部屋に案内された、実際にはどこに居ればよいのか？

【事務局】会場に入っていたきたい。

【委員】今回もにぎやかになることを期待したい。

(3) 令和5年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教員委員研修会について (協議資料3)

ア 日時 令和5年12月9日(土)

午後1時15分から午後4時30分まで(予定)

イ 場所 調布市文化会館たづくり

ウ 内容 式典、各ブロック研修会実施報告、講演

エ 出席者

| 宮野 | 吉野 | 富田 | 神山 | 市川 | 栗原 | 鈴木 | 鶴岡 | 白井 | 園田 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| ○ | — | — | — | — | — | — | — | — | — |

【事務局説明】

(4) 12月定例会について

例年12月は休会、異議なしで休会に決定。

(5) その他

特になし

4 その他

配布物

- ・社教連会報No.93
- ・福島県社会教育研究集会資料

- ・国際理解講座外国人日本語講座報告書
- ・「よつばの手紙」（青梅市ジェンダー情報誌）
- ・二十歳を祝う会案内
- ・「冬休みの生活」

【委員】妻が「よつばの手紙」の編集委員となった、40代のトランスジェンダーの方にインタビューしたところ、青梅で講演をしたいとの希望があった。皆様にご支援いただくことをお願いしたい。

【事務局】ジェンダーに関する講演等は市民安全課が市の該当部署である。市で協力できることがあるか検討したい。

【委員】家庭教育講演会は講師料額が不十分と思っている、基準額の見直しは無いのか。

【事務局】市全体の基準のため、社会教育課だけで決定可能なものではないので苦慮している。

【委員】政府も賃上げについての方向性を打ち出しているのだから、見直しを行なうべきだと思う。

【委員】企画の出し方で、助成金や補助金が活用可能になるものがあるのではないのか。

【事務局】いろいろな形が考えられるものの、助成金や補助金は市が主催では当てはまらないものがほとんど。企画の内容について相談いただきたい。

【委員】12月定例会は休会になったため、次に皆さんと顔を合わせるのは、年が明けて1月8日の二十歳を祝う会の席で、定例会は1月16日になる。

本日はこれで終了する。

次回定例会 1月16日（火）